

第3回中南地区統合校開設準備委員会における主な意見

平成30年12月27日

1 校歌の方向性について

- 校歌等については、黒石商業高校の関係者の要望も加味しながら、黒石高校を中心に考えていただきたい。
- 他県等の事例にもあるように、統合対象校の校歌をそれぞれ第1校歌、第2校歌として使用することが良いのではないかと。歌詞については手直しが必要かもしれないが、黒石高校、黒石商業高校の校歌を第1校歌、第2校歌とし、校歌の使い方に関しては統合校に一任しても良いのではないかと。
- 統合校に引き継げるものは引き継ぐこととし、校歌の歌詞はともかく第1校歌、第2校歌として扱うことが良いのではないかと。
- 可能なのであれば第1校歌、第2校歌にした方が良い。
- 第1校歌、第2校歌であれば両校の歴史と伝統も守れることから、わざわざ新たに作るよりは、この考え方が大変良いのではないかと。校歌はその地域に合わせた歌詞になっていると思うので、特に不都合がない。

【開設準備委員会における意見】

- 校歌については黒石高校及び黒石商業高校の校歌を併用することとし、その校歌の活用方法については統合校に一任する方向としたい。

2 校章の方向性について

- 校章に関しても黒石高校を中心に引き継いだ方が良いのではないかと。
- 現在の黒石高校の校章は非常にシンプルで好きなので、仮に統合校の名称が「黒石高等学校」となった場合にはそのまま良いのではないかと。
- 統合校には情報デザイン科が設置されることになるかと思うので、現在の黒石商業高校情報デザイン科の生徒が苦痛に感じないのであれば、是非同科の生徒に新たな校章のデザインを制作していただき、それを活用してはどうか。
- 統合校が新しい学校であると対外的に発信できるのは校章と制服だと考えるので、どちらも新しいものに変えることによって、地域の方々が統合について視覚から認識してもらえるのではないかと。校章について、情報デザイン科の生徒にデザインの制作を依頼してはどうかとの意見は大変ありがたいものであり、それにより黒石商業高校としても統合するという意識が高まるのではないかと。
- 校章については、黒石商業高校情報デザイン科の生徒が制作したデザインを新しい校章にすれば良いのではないかと。黒石市内の統合する小学校においても黒石商業高校情報デザイン科に依頼し一新している。

【開設準備委員会における意見】

- 校章については一新することとし、黒石商業高校の情報デザイン科の生徒にデザインの制作を依頼する方向としたい。

3 制服の方向性について

- 制服については、中学生や高校生等の意見が反映されていることが多く、最近では、ブレザー型の制服が流行になっていると思う。また、特に女子の生徒は制服のデザインも進学する高校を選ぶ際の基準になっていると中学校の先生方からも聞いている。このことも踏まえ一新してはどうか。
- 新たに統合校に入学する生徒は新しい制服で良いと考える。新しい制服は情報デザイン科の生徒にもデザインを考えてもらえば良いのではないか。
- 統合等を行わなくても各高校における判断により変えることがある。ましてや今回は新しい学校になる。黒石市民や周辺市町村の方々にも新たな学校であることを理解してもらうためにも、是非新しい制服にした方が良い。
- 統合校が新しい学校であると対外的に発信できるのは校章と制服だと考えるので、どちらも新しいものに変えることによって、地域の方々が統合について視覚から認識してもらえるのではないか。【再掲】
- 制服は子どもたちが着用するものなので、時代に合わせてデザイン等も変わっていくと思う。現在在学している生徒は現在の制服で卒業し、統合校に入学する生徒は新しい制服にしてもらいたい。
- 制服を一新する際には、来年度設置される開設準備室にデザイン等の選定を任せてはどうか。
制服業者等の意見も聞きながら、長く使用できる生地にするなど子どもたちに適したものにしてもらいたい。
- 平成32年4月に新たな制服が必要だということを考えると、いつまでにデザインの検討等がなされれば良いかなどタイムリミットから逆算して考えた方が良いと思う。
- 開設準備室が設置される前ではあるが、黒石高校と黒石商業高校の専門的な知識がある教員等でワーキンググループのように組織し、前もって少しずつ検討していくことが良いのではないか。
- 高校は中学生向けの体験入学を大体7月下旬に行っており、その段階で新たな制服ができあがっていれば一番良いと思う。
そのように考えると、来年度開設準備室が設置されてから検討しては間に合わないと思うので、学校関係者等でワーキンググループを立ち上げ、直ちに検討した方が良いのではないか。

【開設準備委員会における意見】

- 制服については一新することとし、デザイン等については両校の教職員でワーキンググループを設置するなど早期に検討することとしてほしい。

4 黒石高校及び黒石商業高校の引継ぎ・連携等について

(1) 中南地区統合校に引き継ぐべき黒石高校及び黒石商業高校における特色ある教育活動

- 小中学校の統合の際には、統合対象校の校長が自校の特色ある教育活動をそれぞれ校長会に持ち寄り検討した。統合前には生徒同士の合同学習等を行うなどしながら、統合校に引き継いでいるので、高校においても同様に行えないか。
- 黒石高校からは学校行事としての「黒石よされ」への参加と学校設定科目「ボランティア探究」の2つをあげている。これらは学校外の活動であり、生徒自らの体験によって教員からだけでなく地域の方々から学ぶという観点からは是非引き継いでほしい。
- 黒石高校及び黒石商業高校ともに黒石市と非常に密着した活動が行われている。黒石よされや黒石こみせまつりへの参加が欠けると黒石市にとっては痛手になるかとは思いますが、並行して行うことができるかが課題かもしれない。
- 地域の祭りやイベント等については、部活動単位での参加は可能かとは思いますが、学校全体での参加が可能かどうかは今後の検討になると思う。
- 黒石よされは学校行事として設定し実施されているので対応可能かと思う。また、黒石こみせまつりもこれまでは部活動単位で商業科の広報の機会という側面も持ちながら参加していたので、統合後は情報デザイン科として参加できるのではないかと思う。
- ペーパーファッションショーは、黒石商業高校の文化祭である黒商祭において平成元年から開催している。今年度は黒石高校において、プレ・ペーパーファッションショーを開催し、その黒石高校の代表が、黒商祭において作品を披露するなど統合前であっても生徒会同士での交流が進められている。

【開設準備委員会における意見】

- 統合校でもこれまで両校が行ってきた特色ある教育活動は何らかの形で実践してもらいたい。また、統合前であっても、両校が協力し一緒に活動してもらいたい。

(2) 黒石高校及び黒石商業高校における記念物品

- 記念物品の保管については、普通教室1室とその約半分の広さの部屋を保管場所の候補としている。実際には、保管する記念物品の量を見てからどちらの部屋にするか決めることになるかと思う。
- 黒石商業高校の「種まく人ブロンズ像」は、人目の付く場所に設置してもらいたいとの意見も伺っているので、生徒だけでなく来校者にも見てもらえるように黒石高校校舎1階のコモンスペースなどに設置すれば良いと考えている。

【開設準備委員会における意見】

- 記念物品については、両校にとって非常に貴重な物品であるため、大切に保管がなされるよう引き続き検討してもらいたい。

(3) 統合校における部活動

- 部活動に関しては、フェンシング部など黒石高校のみに設置している部活動は是非引き継いでほしい。なお、バドミントン部については本県のバドミントンの発祥の地が黒石高校とのことなので、是非引き継いでもらいたい。
- 運動部については、おおむね黒石高校においても黒石商業高校の部活動が実施されており、新たに設置する必要はなくこのままで良いのではないかと考える。
文化部については、黒石商業高校は商業高校であるため、簿記、ワープロ、情報処理、珠算・電卓の競技大会があることから全て統合し「商業部」として活動しており、主に商業科の生徒が所属している。また、イラスト・漫画研究部の部員の多くは情報デザイン科の生徒になっている。このような状況なので、商業部の方向性については今後統合校において検討してもらいたい。

【開設準備委員会における意見】

- 統合校に引き継がれるのは情報デザインに関する学びであることを踏まえると、現在黒石高校で実施している部活動で十分ではないかと考える。

5 黒石高校及び黒石商業高校に係る各種証明書の発行等について

【黒石高校及び黒石商業高校に係る各種証明書の発行等】

- 以下の内容とする。
 - ・ 黒石高校及び黒石商業高校卒業生に対する卒業証明書や成績証明書等の各種証明書の発行については、中南地区統合校がその事務を引き継ぐ。
 - ・ これまでの例にならい、平成34年度より、県教育委員会ホームページに黒石高校及び黒石商業高校卒業生向けのページを作成し、各種証明書の発行等に係る案内を掲載する。
 - ・ なお、黒石高校及び黒石商業高校のホームページは、閉校後1年間は存続させるが、それ以降については、県教育委員会のホームページ内に作成した黒石高校及び黒石商業高校卒業生向けのページにつながるようリンクを設定する。

【教育実習生の受入れ】

- 以下の内容とする。
 - ・ 黒石高校及び黒石商業高校卒業生の教育実習生については、中南地区統合校において受け入れることとする。
 - ・ なお、教育実習生の希望者が多数となるなど、中南地区統合校での受入れが困難となる場合には、県教育委員会から他の県立高等学校長へ受入れを要請する。

【指導要録等の引継ぎ等】

- 以下の内容とする。
 - ・ 指導要録、沿革に係る資料の保存・管理等については中南地区統合校が引き継ぐ。
 - ・ その他、物品の移動に関することなどについては、閉校までに黒石高校、黒石商業高校、中南地区統合校及び県教育委員会において十分情報を共有し対応することとする。

6 その他

- 統合校の特色ある教育活動として、様々な事情はあるかと思うが、黒石市内の参加団体も減少しているので、是非黒石ねふたまつりへの参加を検討してもらいたい。
- 同窓会等の任意団体の在り方については、同窓会会員同士で課題を共有し課題解決に向かえば良いのではないか。
- 黒石商業高校校舎について、黒石商業高校の閉校時にあっても、校舎の次の構想が見える形にし、是非利活用について検討してもらいたい。